

I N A C H O ROTARY WEEKLY NEWS

事務所：長野県伊那市西町 5016-2 電話 0265(76)5858 例会日：毎週火曜日 例会場：海老屋料理店 0265(72)2158
会長：熊谷 健 副会長：井上 修 幹事：小椋文成 公共イメージ向上委員長：太田明良

 <p>ロータリーのマジック</p>	<p>2024-2025 国際ロータリーのテーマ ロータリーのマジック</p>	<p>2024-2025 RI会長 ステファニー A. アーチック ＜米国ペンシルバニア州＞</p>	
<p>第1727回例会 令和7年1月21日（火）</p>			

■ 点 鐘 12:30

■ ソング 伊那中央ロータリー讃歌 加藤篤ソングリーダー



■ 会長談話 熊谷健会長



アメリカの第47代大統領 ドナルド・トランプ氏の就任式が1月20日行われました。当日は厳しい寒さが予想されるため、国会議事堂の屋内で行われたそうです。

トランプ氏といえば、就任前からその発言が物議を醸していました。メキシコ湾をアメリカ湾に改称するとか、カナダをアメリカの51番目の州にするとか、パナマ運河の返還を求めるとか、デンマーク自治領のグリーンランドを取得するとか、（言われた方はたまったもんじゃないと思いますが）国際的にはおよそ常識で考えられないようなことを言っています。

ガザ地区において、イスラエルとハマスの停戦合意を、自身の就任式までに完了させると言っていて、実際完了させたのですから実行力はあると思います。しかし、その実行力がどういう方向に向かうのかが心配です。ガザの停戦合意も、イスラエル寄りの合意であるとも言われ、ガザだけでなくヨルダン川西岸地区やレバノンにおけるイスラエルの入植問題などの火種を残し、今後またいつ衝突が起こるかが心配です。

また、アメリカ・ファーストを唱え、地球規模で取組むべき環境政策よりも自国の利益を優先させるとか、貿易においても輸入品に対して多額の関税を掛けるとか、その過激な言動に世界各国が戦々恐々としている状況です。

そういった中で、アメリカの大手企業が相次いで（具体的には、マクドナルド、百貨店のウォルマート、自動車のフォード、バイクのハーレーダビッドソン、アマゾン、メタ等）が、企業が取り組んでいる DEI の施策を廃止したり、見直したりするとの声明を出しました。

日本でも、日産自動車やトヨタ自動車などアメリカに販売網を持つ企業も、同様に DEI を後退させる趣旨の声明を出しています。

こういった背景には、DEI に反対する保守派のインフルエンサー（SNS 上での情報発信によりユーザーに一定の影響を与える人）のロビー・スターバックという人が、その企業の商品に不買運動を促すという脅しがありそれを恐れたとも、アメリカ連邦最高裁が、大学入試における行き過ぎたマイノリティの優遇措置に対し、違憲判決を出したことが挙げられます。また、トランプ政権への忖度があったとも言われています。

実際、トランプが提唱する移民排除の政策は、DEI の精神とは逆行するものです。大統領候補討論会でト

ランプが「オハイオ州ではハイチ移民が住民のペットを食べている。」と発言した話は有名ですが、実際これを信じているアメリカ国民は大勢いるそうです。そしてこれを信じる人たちは、移民排除に同調するでしょう。

また、企業の DEI 見直しにより、女性の社会進出が停滞するのではということも危惧されます。

DEI の精神は、「多様な立場や個性、マイノリティーに対し、それを認めるといふ寛容性を持つ」という普遍的な考えだと思います。そして、その時の政治によって左右される類のものではないと考えます。

余り政治的な発言はここではすべきではないと思っていますが、これからの世の中が、寛容と対話の時代となるのか、分断と憎しみの時代となるのか、今がその岐路に立っているような気がしてなりません。

1月15日の信濃毎日新聞に、在日コリアンとして初めて芥川賞をとった作家の李恢成（り・かいせい）さんが死亡したという記事が出ていました。在日コリアンとしての波乱に満ちた経験を、多くの作品を通じて書き上げてきた作家であり、在日という出自を深く掘り下げることで、日本文学の枠にとどまらない「世界文学」を紡ぎ出したとされています。彼は、晩年の取材の中で「われわれは『世界人』となるプロセスを生きている。そういう未来があると信じられればうれしいじゃないですか」と話していたそうです。

日本人やコリアン、またはアメリカ人といった捉え方を超越して、世界人という考えを観念できるのが来るのかは分かりませんが、私たちがそのプロセスを歩んでいると考えれば、私たちと違う立場の人々に寛容になれるのではないかと思います。

■ ニコニコボックス

- ◆熊谷健 今日久しぶりにゲストのいない例会です。職業奉仕委員長の三澤俊明会員の卓話を予定しています。三澤さんよろしくお願ひ致します。陽気もよく暖かい昼食後のひとときですが、皆さん睡魔に負けないようによく聞いて下さい。
- ◆小椋文成 三澤委員長、本日の卓話 楽しみにしています。よろしくお願ひします。
- ◆伊藤かおり 皆様お疲れ様です。三澤委員長、クラブフォーラム 宜しくお願ひ致します。インフル・コロナなど大流行中、皆様ご自愛下さい。
- ◆井上修 新年 明けましておめでとうございませう。今年も宜しくお願ひ申し上げます。
- ◆北原幹子 先週も大変お世話になりました。有りがとうございませう。余談ですが、今朝聞いた今日のマヤ歴占いによりますと、今日は目標や方向性が決まると大きな力がでる日だそうです。自分の視点を手放し、他の視点をとり入れるとよいとのこと、より良い1日を過ごされて下さい。
- ◆利きワイン参加者各位 先週の夜間例会で“利きワイン”に挑戦された皆様よりニコボックスをいただきました。

■ 幹事報告

小椋文成幹事

幹事報告は別紙をご覧ください。

■ 委員会報告

・1月9日（木）伊那ライオンズクラブ新年例会の報告 熊谷健会長

1月9日（木）午後6時30分から、JA フラワーパレスにおいて「伊那ライオンズクラブ新年例会」に招待され、出席して参りました。懇親会では、乾杯の役目を仰せつかりました。

・1月12日（日）地区インターアクトクラブ冬合宿の報告 井上修地区IA委員



首題の件、テーマ【奉仕活動と国際交流についてともに学ぼう】が1月12日（日）松本勤労者福祉センターで、40名ほどで行われました。ホストは信州友愛RC、松本国際高等学校。基調講演は不肖私がさせて頂き、以下の研修が行われました。研修Ⅱ【国際奉仕活動について学ぶ】乾みゆ紀さん。研修Ⅲ 丸子RC 大森美和氏。何とジンバブエとオンラインで、世界で活躍するロータリー-学友やグローバル奨学生とのリアルな体験授業がありました。加えて留学生2人より報告があり、各校のインターアクト生は随分刺激されたと思います。



・1月18日（土）アルプスイ〜なちゃんソフトボールクラブ令和6年度卒団式の報告 熊谷健会長

1月18日（土）午後3時30分から、伊那防災コミュニティーセンターにて「アルプスイ〜なちゃんソフトボールクラブの令和6年度卒団式」に招待され、出席して参りました。

今年の卒団生は7人と多く、一昨年の秋の長野県大会で優勝し、昨年3月に京都府宇治市で開催された全日本大会に長野県代表として出場しました。全国大会での戦績は初戦敗退でした。

また、7月に行われた北信越予選長野県大会で2位となり、北信越大会への出場権を獲得、北信越大会では3位という成績を残すことができ、活躍した年でした。

卒団式では、卒団生とその保護者が交互に感謝の挨拶をされ、涙する父兄もいました。（母親より父親の方が泣くものですね。）

私は、祝辞の機会を与えられました。参加して、昔、スポ少で娘のバスケットや息子の野球を一生懸命応援していた記憶が蘇りました。

・1月19日（日）一般社団法人伊那青年会議所新春会員大会の報告 熊谷健会長

1月19日（日）午後5時30分から、JA フラワーパレスにて「一般社団法人伊那青年会議所の新春会員大会」に招待され、出席して参りました。小椋幹事も伊藤 SAA もシニア会員として参加していましたので、一緒に新入会員候補者を物色してきました。

私も元 JC のメンバーですが、卒業して26年が経ってしまったことを身に染みて感じてきました。今年のスローガンは「誇り Let's Try」だそうですが、若い力のバイタリティーを感じるとともに、昔はよくこんなことができたな、という感慨に浸るひとときでした。

■ 出席報告

会員数44名 出席免除会員5名 長欠会員1名 本日出席者26名 事前メイク1名
出席率71.05% 前回出席率 修正なし

■ クラブフォーラム

「職業・社会奉仕委員会」

・委員長挨拶・卓話

三澤俊明職業・社会奉仕委員長



私の生業はロータリークラブの職業分類では「金属加工」となっています。「金属加工」と聞くと金属の板や塊をハンマーでガンガン叩いて製品を成型しているイメージがありますが、実はそうでなく、繊細さを必要とする超精密加工そのものであります。本日はその内容と歴史についても語らせていただきます。

私は伊那市福島で（株）テク・ミサワという会社を経営しています。業種は製造業で創業は1957年ですから、今年で68周年となります。従業員数は現在30名で事業内容は精密部品の切削加工となります。また子会社として電熱ヒーターの部品の製造のみに特化した伊那精密工業（株）を持っています。

会社のルーツは龍水社の時計（いわゆるボンボン時計）となります。龍水社は皆さんご承知のように昭和中期ごろまで地元で栄えた養蚕業者の大手です。その龍水社が晩年（昭和30年頃）には養蚕に変わる事業として精密機器である時計の製造に乗り出しました。

それと同時期に龍水社は外注先を確保する目的で、地元の農家の長男に声をかけ、集まった青年たちに自社で精密部品加工技術を養成し、起業を促しました。

そうして幾つもの家内工業的な会社が上伊那地域に設立されました。そのひとつがテク・ミサワの前身である三澤製作所でした。

テク・ミサワは創業当時には時計部品に特化して、歯車やら時針、分針などの加工をしていましたが、水晶振動子によるクォーツ時計の出現によって、時計のメカ部品が必要なくなり、1980年代には終焉を迎えます。変わって1990年代になると、CDプレイヤーが車載化され出したことから、カーオーディオの部品、またパソコン創世記の波に乗ってフロッピーディスクドライブなどの電子機器部品が取って代わりました。

2000年代になると世の中の省力機械化によって空気圧機器が、そして2010年代には東日本大震災後の復興特需からガス機器部品が台頭して参りました。

そして現代、2020年代に入ると、医療機器へ本格参入し、厳しい価格競争にさらされるレッドオーシャンから抜け出し、差別化を図っています。

現在製作している医療機器部品は整形外科用のインプラントで、骨折時に使用するものです。素材であるチタン合金は俗に難切削材といわれる大変加工が困難な金属ですが、約70年の精密切削のノウハウを駆使し、作業に当たっています。



■ 点 鐘

13:30

次回例会

1月28日（火）点鐘／12:30 場所／海老屋料理店

- ・ 全員協議会「次年度地区補助金事業について」
- ・ 例会終了後：クラブ協議会（下期はじめ）・理事会